

8月号

2024年8月1日発行



くるりのお便り

北区リサイクル事業協同組合
TEL 03-3910-1290
Fax 03-3910-1263
〒114-0016
東京都北区上中里1-41-10

2024パリオリンピック・パラリンピック

コロナ禍、無観客で開催された東京五輪から3年。

世界で最初にオリンピックの古紙を回収した当組合（少し自慢）は今までの大会で実施されなかったダンボールなど紙類の資源化に取り組み、その際「大会史上最も持続可能なオリンピック」とい言葉は初めて知りま

この持続可能なオリンピックとは何か？

その取り組みをいくつか紹介します。

1、気候変動

二酸化炭素の削減 使える再生エネルギーは100%使う。

2、資源管理

無駄な資源は使わない、フードロス対策。

3、大気・水・緑・生物多様性等

自然を残した大会運営、雨水利用。

他にも人権・労働、公正な事業慣行、差別のない大会運営など、テーマごとに目標を定め取り組まれており、SDGs（持続可能な開発目標）が指針となっています。

パリ五輪の目玉は史上初「使い捨てプラスチックのない大会」で、ペットボトルは販売だけではなく持ち込みも禁止、マイボトルの持参を呼びかけています。

マフソンの給水所では再利用可能なカップを使用する予定です。

パリ協定（気候変動問題に関する国際的な枠組み）に沿ったCO2削減にも取り組んでおり、極力移動時間が短くなるように各会場から30分以内の場所に選手村を設置しています。

パリ五輪

の大会とされている2012年のロンドン五輪。

また、チケットを持っている観客はパリの公共交通機関が使い放題、パリを走行するバスはゼロエミッション車（温室効果ガスを排出しない電気自動車や燃料電池自動車）、レンタル自転車も使えます。

東京五輪で問題になった食品廃棄問題。

パリでは訪れる全ての人への食事を30万食と想定しており組織委員会最大の課題と位置づけ取り組んでいます。

農業従事者、栄養士、レストラン経営者、仕出し業者、シェフやパン職人などの様々な組合と連携し野菜を作る段階から無駄が出ないように取り組んでおり、もし残ってしまった場合もフードロス対応として寄付先を事前に決定しています。

サステナブル（持続可能）を取り入れた初めて

それいけ！北く（151）



(鰺淵 雄二郎)



夏と言えば怪談話を思い浮かべる方が多いと思います。

ゾッとする話を聞くと背筋が凍るような感覚になりヒヤッとした涼しい気分を味わえますよね。

昔からある怪談話だと耳なし芳一、現代の怖い話だとトイレの花子さん、

都市伝説だとメリーさんの電話など有名な怖い話が多数あります。

一概に怖いと言っても色々な怖さがあります。

怖い話で言うところ、先にあげた怪異的な話が一般的ではありますが、近年では人間の闇の部分、心理的な描写を使った嫌な気持ちになるミステリー、略して「イヤミス」と呼ばれるジャンルが人気です。

有名な所だと凄惨なえさんの告白があげられます。

映画化されているので見た事、読んだことある方もいると思いますが見た後何とも言えない気持ちになりますよね。

(田中 翼)

何故嫌な気持ちになるかもしれないのに見てしまふのか。

怖いもの見たさ、好奇心心等色々あると思います。結局のところ、「他人の不幸は蜜の味。」

この一言で片付けてしまふのかと思つてます。

見る側の楽しさとしては、自分にこんなことが起きたら絶対嫌。

でも、他人の不幸は面白いという心理があるはず。

イヤミスの作品は過去に起こった事件をオマージュしているのかな？と何となく想像できるような

物もあります。

半分リアル、半分エンタメのちょうどよい塩梅が色々な人を引き付けているのかなと思います。

とどのつまり、一番怖いのは他人の不幸を笑っているあなたですよ。

(田中 翼)

編集後記

ザ・ノンフィクションというテレビ番組が好きで、毎週欠かさず見ている。(日曜日 14時00分〜14時55分 フジテレビと一部系列局で放送)

録画し、気に入ったものは繰り返し視聴している。

ザ・ノンフィクションは市井の人々が人生に苦闘しながらも情熱を持って生きる姿を取り上げるという趣旨のドキュメンタリー番組で、毎週様々な過去・経歴を持った人物及び人物たちに密着し、我々はその様子を画面を通して垣間見るのである。

放送終了後は必ずX(旧Twitter)のトレンドに名が上がるくらい人気と話題性を持っている。

その内容たるや実に多種多様で、心が温まり元気がもらえる素敵な話、過去の自分と重ね合わせ共感してしまう話、胃の中にガソリンをぶち込

まれる様な、日曜日の屋間にこんな流れや・・・と言いたくなる様な数日引きずってしまう強烈エピソードなど、見るものを飽きさせない内容になっている。

他者の人生の一端にテレビ番組を通して触れる事により、自身の人生を那由他の彼方から客観視し、生きる苦みを味わうが如く眉間に皺を寄せ、サンサーラを聴きながら心を涅槃へと導く。

生・死・情・理。

あらゆるものが脳内を巡り日常生活でブレた心を中心に戻し、背筋を伸ばして今日に感謝する。

これが私の日曜の午後の過ごし方である。

しかし数時間後には「タイヘーくらねな。」とおしりを掻きながらハラハラし、日曜が夕日と共に沈んでいく。

(サクマ ダイスケ)

※サンサーラ：番組テーマ曲。「生きてる 生きている」が歌いだし。

※タイヘー：林家たい平の事。笑点大喜利のメンバー。

次号(152号)の

10月1日

にな

北区リサイクル事業協同組合 官公需適格組合
http://www.kitaku-rila.jp/

新聞 / 雑誌 / 雑がみ
段ボール / 古着 (古布)

北区が認定する集団回収事業者です
区内ならどこへでも伺います
事業系古紙も取り扱っています



☎ 03-3910-1290 / Fax 03-3910-1263
(受付 9:00~17:00) 〒114-0016 北区上中里 1-41-10

粗大ごみの搬出

お困りの方はお気軽にご相談ください

03-6903-5757
(日曜・祝日を除く 9:00~16:00)



NPO 法人
北くるり協議会
北区上中里 1-41-10
http://www.kitakururi.jp